国際木材解剖用語集

(International Glossary of Terms used in Wood Anatomy)

木材学会誌　第21巻　第9号　(1975)

日本木材学会

国際木材解剖用語集

(International Glossary of Terms used in Wood Anatomy)

国際木材解剖学者連合用語委員会

(Committee on Nomenclature, International Association of Wood Anatomists)

邦語用語および説明文の一部改訂について

国際木材解剖用語集(International Glossary of Terms used in Wood Anatomy) は，1957年国際木材解剖学者連合 (International Association of Wood Anatomists 略称 IAWA) によって制定されたものである (*Trop. Woods*, No. 107, 1～36, 1957)。これは英語によるものであったが，その後1964年にはフランス語，ドイツ語，イタリー語，ポルトガル語，スペイン語およびクロアチア-セルビア語の対訳をつけた多国語術語集が刊行された。本用語の邦語訳については，1958年組織と材質研究会に用語小委員会が設けられ，研究会で検討を重ねて訳語案を作成，さらに木材学会会員の意見を広く求めた後，1964年国際木材用語集 (和英および定義) として制定され，学会誌に掲載された (第10巻4号，147～166，1964)。これに定められた用語は，その後，木材学会誌投稿に使用されるとともに，研究・教育における標準の木材解剖用語として広く用いられてきた。

上述のように定められた用語は広く普及しているが，今回次の2点について改訂を行なうことになった。第1点は**細胞膜** (cell wall) を**細胞壁**と改め，関連する用語もそれにともなって改訂することである。理由は，植物細胞の最外側をおおう後形質性の構造を細胞壁と呼ぶことが植物学分野で慣用化しており，また，しばしば原形質膜が細胞膜とよばれるので，細胞膜 (cell wall) と混乱を生ずることによる。第2点は周皮の解説文 (定義) の改訂で，これはIAWAの用語集 (1964) において，この部分が変更されていたことによる (木材学会制定の用語は1957年の用語集によっている)。これらの改訂は，1974年第33回組織と材質研究会において改訂案を決め，会誌第20巻6号会告に掲載，本年第131回理事会において改訂が決定された。改訂された用語は46語であるが，説明文 (定義) 中の用語をも含めると，用語集の多数個所を訂正することとなるので，ここに新たに改訂版の用語集を作成し，広く学会会員の使用に供することとした。

改訂した用語の多くは，旧用語の“膜”を“壁”に置きかえたものである。“Pit membrane”については意見が分れ，“壁孔壁”と“壁孔膜”の両方を使用してよいこととした。前者を可とする意見は，それが後形質性の壁の一部であることを重く見る立場に立ち，後者を可とする意見は，壁と細胞間層を含むが，細胞間の通路としてmodify され，構造上も異なることを重視し，また壁孔構造の研究の際などに周囲の壁と区別した呼称が好ましいこと，壁孔膜 pit membrane として用いるので cell membrane, plasma membrane との混乱はないことなど実用上好都合で支障がないことによっている。用語を統一し，混乱を避ける見地からは好ましいことではないが，過渡的段階における処置として，やむを得ないことであった。

改訂に際し，案の作成・検討に当られた組織と材質研究会会員・関係各位に深謝するとともに，今後の普及にいっそうのご尽力をお願いする次第である。

用　語　集*

略語および記号解説

Am.＝北米で使用されている言葉

BCF＝British Commonwealth Forest Terminology, Part I (1953) からとった定義

BSI＝British Standards Institution Publication B. S. No. 565 “Glossary of terms applicable to timber, plywood and joinery” (1949) からとった定義

IAWA ＝ “Glossary of terms used in describing woods,” *Trop. Woods*, **36**, 1—13 (1933) からとった定義

pl. ＝複数形

SAF＝Society of American Foresters 刊行の “Forest Terminology” (1950) からとった定義

---

* 巻末の注および図を参照せよ。

Syn. ＝同義語
不賛＝不賛成な言葉
廃＝廃棄された言葉
修＝修正された定義
《 ㊟》＝文部省学術用語集植物学編（1956）による訳語
であるが本案では採用しないもの
〔〔 〕〕＝当用漢字外であるが使用をさまたげないもの
〔 〕＝必要に応じて補う言葉
→＝参照すべき項目を示す

I 和英および定義の部

Amijô-jûsoshiki. 網状柔組織— →jûsoshiki, Amijô-.

Amijô-senkôban. 網状せん孔板— →senkôban, Amijô-.

Asshuku-ate-zai. 圧縮あて材— →zai, Asshuku-ate-.

Ate-zai. あて材— →zai, Ate-.

Ban-juhi. 晩樹皮— →juhi, Ban-.

Ban-zai. 晩材— →zai, Ban-.

Besuchâdo-hekikô. ベスチャード壁孔— →Hekikô.

Bôjô-jûsoshiki. 帽状柔組織— →jûsoshiki, Bôjô-.

Bôsuikei-hôsha-soshiki. 紡錘形放射組織— →hôsha-soshiki, Bôsuikei-.

Bôsuikei-jûsaihô. 紡錘形柔細胞— →jûsaihô, Bôsuikei-.

Bôsuikei-shigen-saihô. 紡錘形始原細胞 Fusiform (cambial) initial.—木部あるいは師*部の軸方向の要素を生ずる形成層始原細胞；接線面で見た場合に紡錘形を呈する (IAWA 修)。

Bôsui-soshiki. 紡錘組織 Prosenchyma.—細長くて尖端が次第に細くなるような形を持った細胞の総称。注：過去においては柔組織に対応するものとして繊維および仮道管，ときには道管要素をも含めて総称として用いられた。

Bunki-hekikô. 分岐壁孔— →Hekikô.

Bunpitsusei-saihôkangeki. 分泌性細胞間げき— →Saihôkangeki.

Bunretsu-soshiki. 分裂組織 Meristem.—活発に細胞分裂を行ないうる組織で，その分裂によって植物体に新しい細胞を追加する。→bunretsu-soshiki, Chôtan- および Keiseisô.

bunretsu-soshiki, Chôtan-. 頂端分裂組織 Apical meristem.—苗条および根の生長点における分裂組織。

Bun'ya. 分野 Cross-field (Syn. Ray crossing (Am.; 不賛)). —放射断面で見た場合に放射組織の細胞と軸方向仮道管との接触面がつくる矩形の部分に与えられた便宜上の用語。主として針葉樹に対して用いられる。

Bun'ya-hekikô. 分野壁孔— →hekikô, Bun'ya-

Chirosoido. チロソイド Tylosoid.—薄壁のエピセリウム細胞が細胞間道の中に膨大したもの。注：チロソイドは壁孔を通らないことでチロースと異なる。

Chirôsu. チロース Tylosis, pl. tyloses. —道管の側壁の壁孔をとおして，隣接する放射柔細胞または軸方向柔細胞が膨大し，道管の細胞内こう**の一部あるいは全部をふさいだもの。注：チロースはきわめてわずかな場合と非常に多く密集している場合，薄壁と厚壁，壁孔のあるものとないもの，澱粉・結晶・樹脂・ゴム質などを含むものと含まないものとがある。

chirôsu, Kôheki-. 厚壁チロース Sclerotic tylosis.—極端に厚くて層をなし，かつ木化した細胞壁と分岐壁孔を持ったチロース。石細胞の一種。

Chokuritsu-saihô. 直立細胞 Upright ray cell.—長軸が縦方向の放射組織細胞 (IAWA 修)。注：この種の細胞は，ある種の単列放射組織および，ある種の多列放射組織の単列部（典型的には上下の縁の部分）を構成する。

Chôtan-bunretsu-soshiki. 頂端分裂組織— →bunretsu-soshiki, Chôtan-.

Chûkan-sen'i. 中間繊維 Intermediate fibre.— →jûsaihô, Bôsuikei-.

Chûsô. 中層— →Saihôkansô.

Daiyô-sen'i. 代用繊維 Substitute fibre.— →jûsaihô, Bôsuikei-.

Dôkan. 道管 Vessel (Syn. Trachea).—細胞が軸方向に連続して合体し，不確定の長さで分節を持った管状の構造を形成しているもの；同類要素との間に有縁壁孔を持つ (IAWA 修)。

Dôkan-hôsha-soshiki-kan-hekikô. 道管放射組織間壁孔— →hekikô, Dôkan-hôsha-soshiki-kan-.

Dôkanjô-kadôkan. 道管状仮道管— →kadôkan, Dôkanjô-.

Dôkan-senkô. 道管せん孔— →senkô, Dôkan-.

Dôkan-sôgo-hekikô. 道管相互壁孔— →hekikô, Dôkan-sôgo-.

Dôkan-yôso. 道管要素 Vessel member or element (Syn. Vessel segment (不賛))。—道管を構成する1個の細胞 (IAWA)。

dôkan-yôso, Sen'ijô-. 繊維状道管要素 Fibriform vessel member or element. —比較的直径が小さくて繊維状仮道管に似た形態の道管要素。

Dôkei-hôsha-soshiki. 同形放射組織— →Hôsha-soshiki.

Dokuritsu-jûsoshiki. 独立柔組織— →jûsoshiki, Dokuritsu-.

Dokuritsu-obijô-jûsoshiki. 独立帯状柔組織— →jûsoshiki, Dokuritsu-obijô-.

Dôrui-yôso. 同類要素— →yôso, Dôrui-.

Dôsei-hôsha-soshiki. 同性放射組織— →Hôsha-soshiki.

Dôsei-hôsha-soshiki-gata. 同性放射組織型— →Hôsha-soshiki.

---

* 〔〔篩〕〕
** 〔〔腔〕〕

Dôshingata-zainai-shibu. 同心型材内師部* —→shibu, Zainai-.

Episeriumu. エピセリウム Epithelium (Syn. Epithelial layer). —細胞間道あるいは細胞間こう**をとりかこむ分泌細胞の層 (IAWA 修)。

Episeriumu-saihô. エピセリウム細胞 Epithelial cell. —エピセリウムの細胞。

Feroido-saihô. フェロイド細胞 Phelloid cell. — → Koruku-soshiki.

Fiburiru. フィブリル Fibril. —光学顕微鏡下で可視の，細胞壁の糸状構成物。注: 条件をつけずにこの用語が用いられた場合は"ミクロフィブリル"に対しての"マクロフィブリル"と同義語である。

Fiburiru-keikaku. フィブリル傾角 Fibril angle. —細胞の長軸とフィブリルの方向とのなす角度。

Fukugô-kankô. 複合管孔 — →kankô, Fukugô-.

Fukugô-saihôkansô. 複合細胞間層 — → saihôkansô, Fukugô-.

Furenzoku-seichôrin. 不連続生長輪 — → seichôrin, Furenzoku-.

Furuijô-hekikô. ふるい*状壁孔 — →hekikô, Furuijô-.

Gai-juhi. 外樹皮 — →juhi, Gai-.

Gai-kôkô. 外孔口 — →Kôkô.

Gaisoku-bôjô-jûsoshiki. 外側帽状柔組織 — →jûsoshiki, Gaisoku-bôjô-.

Genkeishitsu-tai. 原形質体 Protoplast. —細胞壁によってかこまれた原形質の集まり。

Gensei-mokubu. 原生木部 — →mokubu, Gensei-.

Ginenrin. 偽年輪 False annual ring. —重年輪中の一つの生長輪 (IAWA 修)。

Gomudô. ゴム道 Gum duct. —ゴム質を含む細胞間道。

Hajômon. 波状紋 — →Rippurumâku.

Han'en-hekikô. 半縁壁孔 — →Hekikô.

Han'en-hekikô-tsui. 半縁壁孔対 — →hekikô-tsui, Han'en-.

Hankankô-zai. 半環孔材 — →zai, Hankankô-.

Han-saihô. 伴細胞 Companion cell. —師*管要素の姉妹細胞でそれと密接に結合し，核と稠密な細胞質をもつ。注: 伴細胞はその分化に先だって水平その他の面で分裂することがある。

Hasei〔no〕. 破生〔の〕 Lysigenous. —細胞の破壊または分解 (溶解) によって形成されることを示す。

Heifuku-saihô. 平伏細胞 Procumbent ray cell. —長軸が放射方向の放射組織細胞 (IAWA)。訳注: Syn. 横臥細胞。

Heisoku-hekikô-tsui. 閉そく壁孔対 — →hekikô-tsui, Heisoku-.

Hekikô. 壁孔 Pit. —細胞の二次壁の孔隙およびその孔隙を外側において閉じる壁 (膜) の総称; 内側は細胞内こう**に向って開いている。注: 主要部分は壁孔こう**および壁孔壁(壁孔膜)からなる(IAWA 修)。訳注: Syn. 紋孔。

壁孔の記述には次のような用語が用いられる:

Besuchâdo-hekikô. ベスチャード壁孔 Vestured pit (Syn. Cribriform membrane (不賛))。一壁孔こう**の全面または一部が二次壁からの突起物でおおわれている有縁壁孔 (IAWA)。

Bunki-hekikô. 分岐壁孔 Ramiform pit. —石細胞に見られるように，細い管状の壁孔こう**が接合した単壁孔 (IAWA)。

Han'en-hekikô. 半縁壁孔 — →hekikô-tsui, Han'en-.

Hinokigata-hekikô. ヒノキ型壁孔 Cupressoid pit. —早材における分野壁孔の1型式。卵円形の輪内孔口を持ち，孔口の両側における孔口と壁孔縁までの距離はいずれも孔口の幅より大きい。典型的なものはヒノキに見られる。注: 針葉樹のみに用いられる。

Madojô-hekikô. 窓状壁孔 Window-like pit (Syn. Fenestriform pit). — →Matsugata-hekikô.

Matsugata-hekikô. マツ型壁孔 Pinoid pit. —ある種のマツ属の早材における分野の，やや小型の壁孔に対する便宜上の用語 (ただし *Pinus sylvestris*, *P. strobus* 等に見られる大きな窓状壁孔は除く)。壁孔縁を全く欠くか，あるいはわずかに有するのが特徴であり，大きさおよび形は変化に富む。訳注: 日本産のマツ属はすべて窓状壁孔である。

Mô-hekikô. 盲壁孔 Blind pit (Syn. Air pit (不賛))。一隣接する細胞に対応する壁孔がない壁孔。注: ふつうは細胞間げきに面した部分に現われる (IAWA 修)。

Senkei-hekikô. 線形壁孔 Linear pit. —正面から見た場合に細長く幅の変化がほとんどない孔口をもつ壁孔。

Sugigata-hekikô. スギ型壁孔 Taxodioid pit. —早材における分野壁孔の1型式。大型の卵円形または円形の輪内孔口をもち，孔口の両側における孔口と壁孔縁までの距離はいずれも孔口の幅よりも小さい。典型的なものはスギに見られる。注: 針葉樹のみに用いる。

* 〔〔篩〕〕
** 〔〔腔〕〕

Tan-hekikô. 単壁孔 Simple pit.—細胞の二次壁の肥厚につれて，すなわち細胞内こう**に向って，壁孔こう**が次第に広がるか，全く大きさを変えないか，あるいはきわめて徐々に狭くなる壁孔 (IAWA 修)。

Tôhigata-hekikô. トウヒ型壁孔 Piceoid pit (Syn. Piciform pit (不賛)). —早材における分野壁孔の1型式。孔口は幅の狭い，わずかにはみ出した輪出孔口である。典型的なものはトウヒ属に見られる。注: 針葉樹のみに用いられる。

Yûen-hekikô. 有縁壁孔 Bordered pit.—典型的には壁孔壁(壁孔膜)が二次壁によってアーチ状におおわれた壁孔。訳注: Syn. 重紋孔。

hekikô, Bun'ya-. 分野壁孔 Cross-field pitting.—放射断面において放射組織細胞の細胞壁とそれに接する軸方向仮道管の細胞壁によって作られた四角形の中に現われる壁孔の状態。

hekikô, Dôkan-hôsha-soshiki-kan-. 道管放射組織間壁孔 Ray-vessel pitting.—放射組織細胞と道管要素の間の壁孔の状態。注: 二三の解剖学者は次に示すような型を区別している；Gash-like, horizontal-; Gash-like, vertical-; Kidney-shaped; Large rounded; Similar to the intervascular pitting.

hekikô, Dôkan-sôgo-. 道管相互壁孔 Intervascular pitting.—(a) 広義には通水要素同志の間の壁孔の状態。(b) 狭義には道管要素同志の間の壁孔の状態。

hekikô, Furuijô-. ふるい*状壁孔 Sieve pitting.—小型の壁孔がふるいの目のように群をなして集まった配列 (IAWA)。

hekikô, Henpuku-. 片複壁孔 Unilaterally compound pitting.—1個の壁孔が隣接する細胞の2個以上の小型の壁孔と対をなしている状態 (IAWA)。

hekikô, Kaidan. 階段壁孔 Scalariform pitting.—細長い，あるいは線形の壁孔が梯子状に連続して配列された状態 (IAWA)。

hekikô, Kôgo-. 交互壁孔 Alternate pitting.—斜方向の列をなして何列も並んだ壁孔の配列。注: 壁孔が密集している場合には，壁孔縁の輪郭は正面から見た場合に六角形になる傾向がある。

hekikô, Tairetsu-. 対列壁孔 Opposite pitting.—水平方向の列をなして，2ないし数個ずつ並ぶ壁孔の配列 (IAWA)。注: 壁孔が密集している場合には，壁孔縁の輪郭は正面から見た場合に四角形になる傾向がある。

Hekikô-dô. 壁孔道 Pit canal.—有縁壁孔において細胞内こう**から壁孔室に至る通路。注: 厚壁の細胞における単壁孔は，一般に壁孔道類似の壁孔こう**をもつ (IAWA)。

Hekikô-en. 壁孔縁 Pit border.—有縁壁孔で二次壁がアーチ状におおいかぶさった部分 (IAWA)。《へり〔膜孔の〕㊥》

Hekikô-heki(-maku) 壁孔壁 (壁孔膜) Pit membrane.—壁孔こう**を外側において閉じる細胞間層および一次壁の部分 (IAWA 修)。壁孔壁(壁孔膜)の中央部の厚くなった部分はトールスと呼ばれている。注: ヒマラヤスギ属 *Cedrus* の場合のようにふちにぎざぎざのあるトールスはきょ歯状トールスと呼ばれている。《閉鎖膜㊥》

hekikô-iki, Ichiji-. 一次壁孔域 Primary pit-field (Syn. Primordial pit (IAWA)).—細胞間層および一次壁の薄くなった部分で，その部分には1個以上の壁孔対が発達するのが普通である。

Hekikô-kô. 壁孔こう** Pit cavity.—壁孔壁(壁孔膜)から細胞内こう**に至るまでの全空間 (IAWA)。

Hekikô-maku. 壁孔膜 → Hekikô-heki.

Hekikô-shitsu. 壁孔室 Pit chamber.—壁孔壁(壁孔膜)と，アーチ状におおいかぶさった壁孔縁との間の空間 (IAWA)。《室〔膜孔の〕㊥》。

Hekikô-tsui. 壁孔対 Pit-pair.—隣接する二つの細胞の間で相対応する二つの壁孔 (IAWA)。

hekikô-tsui, Han'en-. 半縁壁孔対 Half-bordered pit-pair.—隣接する二つの細胞の間で単壁孔と有縁壁孔が一つの対をなしたもの (IAWA)。

hekikô-tsui, Heisoku-. 閉そく壁孔対 Aspirated pit-pair.—トールスが側方に片寄って一方の孔口を閉じた状態になっている有縁壁孔対。

hekikô-tsui, Tan-. 単壁孔対 Simple pit-pair.—隣接する二つの細胞の間で単壁孔同志が一つの対をなしたもの。

hekikô-tsui, Yûen-. 有縁壁孔対 Bordered pit-pair.—隣接する二つの細胞の間で有縁壁孔同志が一つの対をなしたもの。

Henpuku-hekikô. 片複壁孔— → hekikô, Henpuku-.

Henzai. 辺材 Sapwood (Syn. Alburnum(廃)).—材の中で生立時に生きた細胞と貯蔵物質（たとえば澱粉）をもっている部分。*cf.* Shinzai.

henzai, Naibu-. 内部辺材 Included sapwood (Syn. Double sapwood (不賛), Internal sapwood).—心材にかこまれていながら外観と材質が辺材に類似する材。

正常の辺材のように生きた細胞が存在することはないが，貯蔵物質は残っている場合もある。

Himoku. 皮目 Lenticel.—周皮の特殊化した部分で，いろいろの形をとるがしばしばレンズ形であり，きわめてわずかにコルク化しただけの細胞が疎に配列している；他の部分では不透過性の周皮がこの部分を通してガス交換を行なうのに役立っている。

Hinokigata-hekikô. ヒノキ型壁孔—→Hekikô.

Hippari-ate-zai. 引張あて材—→zai, Hippari-ate-.

Hisô. 皮層 Cortex.—茎または根の表皮あるいはコルク組織と維管束系の間にある一次基本組織。

Hôkei-saihô. 方形細胞 Square ray cell.—放射断面で見た場合にほぼ四角形の放射組織細胞。注：この種の細胞は，ある種の単列放射組織およびある種の多列放射組織の単列部（典型的には上下の縁の部分）を構成する。*cf.* Chokuritsu-saihô.

Hôsha-fukugô-kankô. 放射複合管孔—→kankô, Fukugô-.

Hôsha-jûsoshiki. 放射柔組織—→jûsoshiki, Hôsha-.

Hôsha-kadôkan. 放射仮道管—→kadôkan, Hôsha-.

Hôsha-nyûkan. 放射乳管—→nyûkan, Hôsha-.

Hôsha-soshiki. 放射組織 Ray.—形成層によって形成され，木部および師*部の中を放射方向に伸びたリボン状の細胞群 (IAWA 修)。注：Medullary ray および Pith ray という用語は現在では一次皮層と髄とを結ぶ柔組織のみに用いられる。訳注：Syn.髄線，射出線。

1933 年版の用語集では，異性放射組織および同性放射組織は次のように定義されている：

Isei-hôsha-soshiki. 異性放射組織 Heterogeneous ray.—形態的に異なった型の細胞によって構成された木部放射組織（典型的なものは，放射方向に長い細胞からなる多列部と，垂直方向に長い細胞あるいは放射方向・垂直方向の長さがほぼ等しい細胞からなる単列部をもつ）。

Dôsei-hôsha-soshiki. 同性放射組織 Homogeneous ray.—放射方向に長い細胞によって構成された木部放射組織。

上記の定義の不都合な点は，方形あるいは直立細胞のみによって構成された個々の放射組織について触れていないことである。このような放射組織は，言葉どおりに解釈すれば明らかに同性である。しかしながら，このようなものは明らかに異性の多列放射組織に伴って単列の組織として出現するのが普通であって，さらに下等な型の異性放射組織型の重要な構成要素と考えることができる。このために木材解剖学者の何人かは，“異性 (heterogeneous)”という言葉の意味を拡張して方形細胞あるいは直立細胞のみによって構成される放射組織をも含めさせたが，このことは混乱を引起しやすく，また一般的な支持を受けることはできない。

これらの用語は H. H. Janssonius の“einfach”および“zusammengesetz”に対する訳語として C. Reinders-Gouwentak によって非常に違った意味に用いられてきた。

そこで小委員会は個々の放射組織に対して，“同性 (homogeneous)”および“異性 (heterogeneous)”という言葉の使用を止めるように勧告することに決めた。小委員会は個々の放射組織については，その構造を詳しく記載する方がいっそう適切であると考えた。たとえば，“多列部は平伏細胞によって構成され単列の縁の部分は方形あるいは直立細胞によって構成される”とか，“放射組織は単列で，すべて平伏細胞によって構成される”というように。

その代りとして，Kribs (*Bot. Gaz.*, **96**(3), 547—557, 1935) によって提唱された“同形 (homocellular)”および“異形 (heterocellular)”という用語をその文字どおりの意味に使用することは差支えないであろう。すなわち：

Dôkei-hôsha-soshiki. 同形放射組織 Homocellular ray.—同じ形態の細胞によって構成されている木部放射組織，すなわち広葉樹類においては，すべて平伏細胞であるか，あるいはすべて方形ないし直立細胞であり，針葉樹類においてはすべて柔細胞である。注：方形細胞と直立細胞は，同じ形態の細胞と見なされる。

Ikei-hôsha-soshiki. 異形放射組織 Heterocellular ray.—異なった形態の細胞によって構成されている木部放射組織，すなわち広葉樹類では平伏細胞と方形あるいは直立細胞の両者からなり，針葉樹類では柔細胞と仮道管の両者からなる。

小委員会は“同性 (homogeneous)”および“異性 (heterogeneous)”という言葉を広葉樹材の放射組織型 (ray tissue) に適用するように勧告する；これは前記 Kribs によってなされた提案に従ったものである。すなわち Kribs は，次のような用語とその定義を提案している：

Isei-hôsha-soshiki-gata. 異性放射組織型

Heterogeneous ray tissue.—個々の放射組織がすべ

* 〔〔篩〕〕

てあるいは一部分，方形または直立細胞によって構成される放射組織型。注：針葉樹材には用いない。

Dôsei-hôsha-soshiki-gata. **同性放射組織型** Homogeneous ray tissue.—個々の放射組織が全く平伏細胞のみによって構成される放射組織型。注：針葉樹材には用いない。

hôsha-soshiki, Bôsuikei-. **紡錘形放射組織** Fusiform ray (Syn. Lenticular ray).—接線断面において文字どおり紡錘形の放射組織。特に針葉樹における樹脂道を含んだ放射組織に対して用いられる。

hôsha-soshiki, Ichiji-. **一次放射組織** Primary ray (Syn. Medullary ray (不賛), Pith ray (不賛)).——一次組織中で発生し，形成層の活動によって伸張した放射組織。*cf.* hôsha-soshiki, Niji-. 注：ふつう内方に髄までたどることのできる放射組織に対して用いられる。→Hôsha-soshiki の注。

hôsha-soshiki, Mokubu-. **木部放射組織** Wood or Xylem ray.—放射組織のうち，形成層の内側の部分(IAWA)。*cf.* hôsha-soshiki, Shibu-.

hôsha-soshiki, Niji-. **二次放射組織** Secondary ray.—形成層の活動によって発生し（すなわち二次木部の出現後に発生），内方は髄まで達していない放射組織。*cf.* hôsha-soshiki, Ichiji-.

hôsha-soshiki, Shibu-. **師*部放射組織** Phloem ray.—放射組織のうち，形成層より外側の部分 (IAWA)。

hôsha-soshiki, Shûgô-. **集合放射組織** Aggregate ray.—小型で幅の狭い放射組織の集まりで，肉眼あるいは低倍率のもとでは単一の大きな放射組織のように見えるもの (IAWA)。

hôsha-soshiki, Tanretsu-. **単列放射組織** Uniseriate ray.—接線断面で見た場合に1細胞幅の放射組織。

hôsha-soshiki, Taretsu-. **多列放射組織** Multiseriate ray.—接線断面で見た場合に2細胞以上の幅をもつ放射組織。

Hôsha-soshiki-shigen-saihô. **放射組織始原細胞** Ray initial.—放射組織細胞を生ずる形成層始原細胞；接線断面で見た場合に普通はグループをなし，個々の細胞は多小とも等径的である (IAWA)。*cf.* Bôsuikei-shigen-saihô.

Hyôhi. **表皮** Epidermis.—一次植物体の最外側の細胞層；しばしば外側の壁は厚く肥厚しクチクラ化する；ときに1層以上の細胞層からなる。

Ichiji-hôsha-soshiki. **一次放射組織**—→hôsha-soshiki, Ichiji-.

Ichiji-heki. **一次壁**—→Saihô-heki.

Ichiji-hekikô-iki. **一次壁孔域**—→hekikô-iki, Ichiji-.

Ichiji-mokubu. **一次木部**—→mokubu, Ichiji-.

Ichiji-shibu. **一次師*部**—→shibu, Ichiji-.

Ikei-hôsha-soshiki. **異形放射組織**—→Hôsha-soshiki.

Ikei-saihô. **異形細胞** Idioblast.—形と内容物が同一組織の他の構成要素から明らかに異なる細胞。注：材における例としてはある種の結晶細胞，油細胞，粘液細胞がある。

Ikô-zai. **移行材**—→zai, Ikô-.

Indenchâ. **インデンチャー** Indenture.—放射組織細胞の水平壁に接線壁（すなわち末端壁）との継ぎ目に沿って現われる狭い溝。放射断面ではインデンチャーは接線壁が水平壁と接する部分での水平壁の凹みとして現われる。注：針葉樹のみに用いられる。

Inishiaru-jûsoshiki. **イニシアル柔組織**—→jûsoshiki, Inishiaru-.

Isei-hôsha-soshiki. **異性放射組織**—→Hôsha-soshiki.

Isei-hôsha-soshiki-gata. **異性放射組織型**—→Hôsha-soshiki.

Jikuhôkô-jûsoshiki. **軸方向柔組織**—→jûsoshiki, Jikuhôkô-.

Jikuhôkô-yôso. **軸方向要素**—→yôso, Jikuhôkô-.

Jinpi-sen'i. **じん皮繊維**—→sen'i, Jinpi-.

Juhi. **樹皮** Bark.—木部円柱体の外側の全組織を包括する非専門語。成木ではふつう内樹皮（生活組織）(*cf.* Shibu) および外樹皮（死滅組織）(*cf.* Richidômu) に分けられる。

juhi, Ban-. **晩樹皮** Late bark.—生長期の後期に形成される樹皮の部分 (*cf.* zai, Ban-.)。典型的な場合には主として樹皮柔組織および少数小型の師*管または師*細胞からなる。生長期の終りには，ときどき繊維の Terminal layer (→juhi, Kô-.) が存在する。

juhi, Gai-. **外樹皮** Outer bark.—→Juhi.

juhi, Kô-. **硬樹皮** Hard bark.—繊維または他の強固細胞からなる樹皮の部分；ときに1生長輪内で軟樹皮の層と交互に同心円状の層をなす。生長期の終りに形成される硬樹皮の層（ナラ属 *Quercus* やクリ属 *Castanea* のごとく）は Terminal layer とよばれる。

juhi, Nai-. **内樹皮** Inner bark.—→Juhi.

juhi, Nan-. **軟樹皮** Soft bark.—師*管，柔細胞およびコルク化した細胞からなる樹皮の部分；ただし，繊維および他の強固細胞を含まない。1生長輪内で硬樹皮の層と交互の同心円状の層をなすか，あるいはその中で硬樹皮の細胞が不規則に分布する基本組織を形づくる。

juhi, Sô-. **早樹皮** Early bark.—生長期間の前期に形成される樹皮の部分 (*cf.* zai, Sô-.)。注: 典型的な場合 (ハンノキ属 *Alnus*, カバノキ属 *Betula*) には, おもに伴細胞を伴う師*管, または師*細胞からなる。

Jukuzai. **熟材** Ripewood.—→Shinzai.

Jûmonkô. **重紋孔**—→Hekikô.

Jûnenrin. **重年齢** Double (or Multiple) ring (Syn. Multiple annual ring).—二つ(あるいはそれ以上) の生長輪からなる年輪 (IAWA)。

jûsaihô, Bôsuikei-. **紡錘形柔細胞** Fusiform parenchyma cell (Syn. Substitute fibre (不賛), Intermediate fibre (不賛)).—形成層の紡錘形始原細胞から細分することなしに由来した軸方向の柔細胞 (IAWA 修)。
訳注: Syn. 代用繊維 (廃), 中間繊維 (廃)。 *cf.* Jûsaihô-sutorando.

jûsaihô, Kakuheki-. **隔壁柔細胞** Septate parenchyma cell.—細胞内こう**に1またはそれ以上の薄い横断壁をもつ軸方向あるいは放射方向の柔細胞 (IAWA 修)。注: これらの細胞では, 原形質体は細胞壁の二次壁形成後に分たれる。

Jûsaihô-sutorando. **柔細胞ストランド** Parenchyma strand.—二つまたはそれ以上の柔細胞が縦に連なったもので, この連なりは単一の紡錘形始原細胞から由来する (IAWA)。*cf.* jûsaihô, Bôsuikei-.

Jushidô. **樹脂道** Resin canal (Syn. Resin duct).—樹脂を含む細胞間道。訳注; Syn. 樹脂溝。

Jushikô. **樹脂溝**—→Jushidô.

Jûsoshiki. **柔組織** Parenchyma (Syn. Soft tissue, Storage tissue).—煉瓦状または等径的な形を典型とし, かつ単壁孔をもつ細胞からなる組織; 材においては(a)紡錘形始原細胞から生じた娘細胞が後に水平に分裂して生ずる (軸方向柔組織) か, あるいは (b) 放射組織始原細胞から生ずる (放射柔組織)。なお jusaihô, Bôsuikei-. をも参照せよ。注: 養分の貯蔵および配分をおもに司る。木部に生ずる場合を木部柔組織, 師*部に生ずる場合を師*部柔組織と呼ぶ。

jûsoshiki, Amijô-. **網状柔組織** Reticulate parenchyma.—放射組織と, 規則正しく距離をとった軸方向柔組織の帯または線がほぼ同じ間隔および距離をとる場合に, 横断面上に形づくられる網状の紋様に対する記述的用語。*cf.* jûsoshiki, Kaidan-.

jûsoshiki, Bôjô-. **帽状柔組織** Unilaterally paratracheal parenchyma (Syn. Abaxial, Adaxial parenchyma).—道管の外側 (Abaxial) または内側 (Adaxial) のみに限られた随伴柔組織。注: このような柔組織は, さらに Unilaterally scanty, Unilaterally aliform, または Unilaterally confluent などに区別することができる。

jûsoshiki, Dokuritsu-. **独立柔組織** Apotracheal parenchyma.—典型的には道管と接触していない軸方向柔組織。注: これにはターミナル柔組織, イニシアル柔組織, 散在柔組織, 独立帯状柔組織が含まれる。

jûsoshiki, Dokuritsu-obijô-. **独立帯状柔組織** Banded apotracheal parenchyma (Syn. Metatracheal parenchyma (不賛)).—→jûsoshiki, Obijô-.

jûsoshiki, Gaisoku-bôjô-. **外側帽状柔組織** Abaxial parenchyma.—→jûsoshiki, Bôjô-.

jûsoshiki, Hôsha-. **放射柔組織** Ray parenchyma (Syn. Radial parenchyma).—放射組織の一部または全部を構成する柔組織 (IAWA 修)。

jûsoshiki, Inishiaru-. **イニシアル柔組織** Initial parenchyma.—1生長期間の初めに単独に, あるいはいろいろの幅の多少とも連続した層をなして生ずる独立柔組織。*cf.* jûsoshiki, Tâminaru-.

jûsoshiki, Jikuhôkô-. **軸方向柔組織** Axial parenchyma (Syn. Longitudinal parenchyma (不賛), Vertical parenchyma (不賛)).—紡錘形始原細胞から生じた柔細胞群。*cf.* jûsoshiki, Hôsha-.

jûsoshiki, Kaidan-. **階段柔組織** Scalariform parenchyma.—規則正しく距離をとった軸方向の柔組織の帯または線の間隔が明らかに放射組織の間隔より狭い場合, 横断面上に形づくられる梯子状の紋様に対する記述的な用語。*cf.* jûsoshiki, Amijô-.

jûsoshiki, Ketsugô-. **結合柔組織** Conjunctive tissue.—材内師*部と結合した特殊な型の柔組織。注: 往々ヒルギダマシ属 (*Avicenia*) のように, ところどころで相互に接合した同心円をなすか, またはマチン属 (*Strychnos*) のように師*部組織を包囲する。

jûsoshiki, Mokubu-. **木部柔組織** Xylem parenchyma (Syn. Wood parenchyma).—木部に生ずる柔組織。ふつう軸方向柔組織と放射柔組織の二つの型に分けられる。

jûsoshiki, Naisoku-bôjô-. **内側帽状柔組織** Adaxial parenchyma.—→jûsoshiki, Bôjô-.

jûsoshiki, Nenrinjô-. **年輪状柔組織**—→jûsoshiki, Tâminaru-.

jûsoshiki, Obijô-. **帯状柔組織** Banded parenchyma.—横断面で見るとき, 同心円状の線または帯をなす軸方

* 〔〔篩〕〕
** 〔〔腔〕〕

向柔組織。注: もし道管と明らかに無関係ならば独立帯状 (Apotracheal banded, Syn. Metatracheal(不賛)) と呼び，道管と接触していれば随伴帯状(Paratracheal banded) と呼ばれる。なお随伴帯状柔組織 (Paratracheal banded parenchyma) と連合翼状柔組織 (confluent parenchyma) は同義語である。

jûsoshiki, Rengô-yokujô-. 連合翼状柔組織 Confluent parenchyma. —横断面で見るとき，不規則な接線状または斜めの帯を形成する相互に連合した翼状柔組織 (IAWA 修)。

jûsoshiki, Risetsu-. 離接柔組織 Disjunctive parenchyma (Syn. Conjugate parenchyma (廃)). —分化の過程で細胞相互の接触が部分的に引離された柔細胞からなる組織; 細胞相互の接触は管状の突起によって保たれる (IAWA)。

jûsoshiki, Sanzai-. 散在柔組織 Diffuse parenchyma. —横断面で見るとき，繊維の間に単一な独立型の柔細胞ストランドまたは紡錘形柔細胞が不規則に分布する柔組織 (IAWA 修)。

jûsoshiki, Shibu-. 師*部柔組織 Phloem parenchyma. —師*部に生ずる柔組織。

jûsoshiki, Shôgai-. 傷害柔組織 Traumatic parenchyma (Syn. Wound parenchyma). —形成層にあたえられた傷害に起因する，大きさ，形および分布の不規則な柔細胞の組織 (SAF 修)。

jûsoshiki, Shûi-. 周囲柔組織 Vasicentric parenchyma. —道管の周囲に完全な鞘をなす随伴柔組織で，鞘の厚さはいろいろで，横断面で円形またはやや楕円形を示す (IAWA 修)。

jûsoshiki, Tâminaru-. ターミナル柔組織 Terminal parenchyma. — 1生長期間の終りに単独またはいろいろの幅の多少とも連続した層をなして生ずる独立柔組織。注: ターミナル型とイニシアル型が区別される以前には，この言葉は両方の型を含んで用いられたが今なおこの意味で便宜上の用語として用いられている。訳注: Syn. 年輪状柔組織。

jûsoshiki, Tan-sessenjô-. 短接線状柔組織 Diffuse-in-aggregates parenchyma (Syn. Diffuse-zonate parenchyma). —横断面で見るとき，放射組織から放射組織までの短い接線状に集る傾向を示す独立柔組織。注: この型はしばしば網状柔組織にもなる (→jûsoshiki, Amijô-.)。

jûsoshiki, Yokujô-. 翼状柔組織 Aliform parenchyma. —横断面で見るとき，側方に翼状の広がりをもつ随伴柔組織。

jûsoshiki, Zuihan-. 随伴柔組織 Paratracheal parenchyma. —道管または道管状仮道管と接触している軸方向柔組織(IAWA 修)。注: 随伴散在柔組織，周囲柔組織，翼状柔組織，連合翼状柔組織などが含まれる。

jûsoshiki, Zuihan-sanzai-. 随伴散在柔組織 Scanty paratracheal parenchyma. —道管の周囲に不完全な鞘状に配列するか，あるいは孤立的に現われる随伴柔組織。

Juzujô-mattan-heki. じゅず状末端壁— →mattan-heki, Juzujô-.

Kadôkan. 仮道管 Tracheid. —同類要素との間に有縁壁孔をもち，かつせん孔をもたない木部細胞 (IAWA 修)。—Sen'ijô-kadôkan の注。

kadôkan, Dôkanjô-. 道管状仮道管 Vascular tracheid (Syn. Imperfect vessel member). —形および位置が小道管に酷似するが，せん孔をもたない細胞 (IAWA 修)。

kadôkan, Hôsha-. 放射仮道管 Ray tracheid. —放射組織の一部を構成する仮道管。

kadôkan, Kakuheki-. 隔壁仮道管 Septate tracheid. — →kadôkan, Sutorando-.

kadôkan, Kakuheki-sen'ijô-. 隔壁繊維状仮道管 Septate fibre tracheid. —細胞内こう**を横切って，薄い水平の壁を有する繊維状仮道管(IAWA 修)。注: これらの細胞では，原形質体は二次壁の形成後に分割される。

kadôkan, Risetsu-. 離接仮道管 Disjunctive tracheid (Syn. Conjugate tracheid (不賛)). —分化の途中で隣接の仮道管から部分的に引離された仮道管; 相互の連絡は管状の通路によって保たれる (IAWA)。

kadôkan, Sen'ijô-. 繊維状仮道管— →Sen'ijô-kadôkan.

kadôkan, Shûi-. 周囲仮道管 Vasicentric tracheid. —道管の周囲に存在する短い不規則な形の仮道管で，軸方向の定まった連なりをなさない (IAWA 修)。

kadôkan, Sutorando-. ストランド仮道管 Strand tracheid (Syn. Septate tracheid (不賛)). —軸方向の連なり，すなわちストランドを形成している短小な個々の仮道管を指す（ときには仮道管と柔細胞とが混って1本のストランドを形成する場合もある)。各々の連なり，すなわちストランドは単一の形成層始原細胞から生ずる (IAWA 修)。訳注; Syn. 隔壁仮道管 (不賛)。

Kaidan-jûsoshiki. 階段柔組織— →jûsoshiki, Kaidan-.

Kaidan-hekikô. 階段壁孔— →hekikô, Kaidan-.

Kaidan-senkôban. 階段せん孔板 — →senkôban, Kaidan-.

Kaikô. **開口**— →Kôkô.

Kakuheki-jûsaihô. **隔壁柔細胞**— →jûsaihô, Kakuheki-.

Kakuheki-kadôkan. **隔壁仮道管**— →kadôkan, Sutorando-.

Kakuheki-moku-sen'i. **隔壁木繊維**— →sen'i, Kakuheki-moku-.

Kakuheki-sen'ijô-kadôkan. **隔壁繊維状仮道管**— →kadôkan, Kakuheki-sen'ijô-.

Kankô. **管孔** Pore.—道管あるいは道管状仮道管の横断面に対して用いられる便宜上の用語 (IAWA)。

kankô, Fukugô-. **複合管孔** Pore multiple.—2個以上の管孔の集まりで，密集しかつ相互の接触面に沿って平たくなっているために，あたかも1個の管孔が分割したように見える (IAWA)。注: 最も普通の型は放射複合管孔 (Radial pore multiple) であって，この場合管孔は放射方向に連続し相互の接触面は接線方向に平たくなっている。他の一つの型は集団管孔であって，この場合は管孔の集まり方は不規則である。

kankô, Koritsu-. **孤立管孔** Solitary pore.—他の要素によって完全にとりかこまれた1個の管孔 (IAWA)。

kankô, Kusarijô-. **鎖状管孔** Pore chain.—近接した孤立管孔の連なった列 (IAWA 修)。

kankô, Shûdan-. **集団管孔** Pore cluster.— →kankô, Fukugô-.

Kankô-zai. **環孔材**— →zai, Kankô-.

Kanrin. **乾輪** Drought ring.— →Shôgairin.

Karitorisu-gata-hikô. **カリトリス型肥厚** Callitrisoid, callitroid thickening.—カリトリス属(*Callitris*) に見られるような壁孔を横切る一対の肥厚線。壁孔の横断面で見られる場合にオーン (awns) と記載される場合がある。注: Callitroid がふつうに用いられるが，Callitrisoid の方が語源上望ましい。

Keiseisô. **形成層** Cambium (vascular cambium).—二次木部および二次師*部の間にあって，それらを生ずるために活発に分裂する細胞の層 (BCF 修)。

keiseisô, Koruku-. **コルク形成層** Phellogen (Syn. Cork cambium).—周皮を生ずる分裂組織の層。

keiseisô, Sôkaijô-. **層階状形成層** Storied cambium.—始原細胞の水平的配列を特徴とする形成層 (IAWA 修)。

Keiseisô-shigen-saihô. **形成層始原細胞** Cambial initial.—形成層の個々の細胞。 *cf.* Bôsuikei-shigen-saihô および Hôsha-soshiki-shigen-saihô.

Keiseisô-tai. **形成層帯** Cambial zone.—形成層始原細胞および，それから分裂した未分化の細胞からなる，いろいろな幅の層に対する便宜上の用語 (IAWA 修)。

Kesshô. **結晶** Crystal.—ふつう区別される型には，次のようなものがある:

Chûshô. **柱晶** Styloid.—典型的にはおよそ長さが幅の4倍ぐらいの細長い結晶で，先端が尖るかまたは四角ばっている。

Sashô. **砂晶** Crystal sand.—非常に細かい結晶の粒状の集まり。

Shinshô. **針晶** Acicular.—細い針状の結晶。注: 柱晶と混同してはならない《針状結晶㊟》。

Shûshô. **集晶** Druse.—結晶の球状の集まりで，往々有機物の芯をもち，柄によって細胞壁に付着するかあるいは細胞内に遊離している。

Sokushô. **束晶** Raphid(e), raphis, pl. raphides.—針状の結晶で典型的には密集した束状をなす。

Kesshô-saihô. **結晶細胞** Crystalliferous cell.—1個以上の結晶を含む細胞。注: 放射柔細胞および軸方向柔細胞がしばしば結晶を含む; 繊維およびチロースでは割合に少ない。

kesshô-saihô, Tashitsu-. **多室結晶細胞** Chambered crystalliferous cell.—隔壁によって室に分けられている結晶細胞。

Ketsugô-jûsoshiki. **結合柔組織**— →jûsoshiki, Ketsugô-.

Ketsugô-kôkô. **結合孔口**— →Kôkô-.

Kôgo-hekikô. **交互壁孔**— →hekikô, Kôgo-.

Kôheki-chirôsu. **厚壁チロース**— →chirôsu, Kôheki-.

Kô-juhi. **硬樹皮**— →juhi, Kô-.

Kôkô. **孔口** Pit aperture.—壁孔の開口 (IAWA)。訳注: Syn. 開口(廃)。孔口の記述には，次のような用語が用いられる:

Gai-kôkô. **外孔口** Outer aperture.—壁孔道が壁孔室に向って開く口 (IAWA)。

Ketsugô-kôkô. **結合孔口** Coalescent aperture.—細胞壁の二次壁内面においてスリット状の孔口が癒合して長い溝状になったもの (IAWA 修)。

Nai-kôkô. **内孔口** Inner aperture.—壁孔道の細胞内こう**に面した開口 (IAWA)。

Renzujô-kôkô. **レンズ状孔口** Lenticular aperture.—正面から見た場合に両凸レンズの断面の形をもった孔口。

---

* 〔〔飾〕〕
** 〔〔腔〕〕

Rinnai-kôkô. 輪内孔口 Included aperture.—正面から見た場合にその輪郭が壁孔縁の内側に囲まれている内孔口 (IAWA)。

Rinshutsu-kôkô. 輪出孔口 Extended aperture.—正面から見た場合にその輪郭が壁孔縁の外側にはみ出している内孔口 (IAWA)。

Koritsu-kankô. 孤立管孔—→kankô, Koritsu-.

Koruku-hisô. コルク皮層 Phelloderm.—外観においては大体皮層の柔組織に似た組織であるが，コルク形成層から内側に向って作り出された細胞によって構成されている。木本植物ではこれらの細胞は容積を増し，壁が肥厚して石細胞を形成することもあり，またときには放射方向に長い形をとる。

Koruku-keiseisô. コルク形成層—→keiseisô, Koruku-.

Koruku-soshiki. コルク組織 Phellem (Syn. Cork).—茎または根においてコルク形成層によって外側に向って作り出される組織。細胞壁は一般にコルク化し，かつ厚壁性のものでは細胞内こう**に向って，さらに木化した層が加わることもある。コルク組織中のコルク化しない細胞は，フェロイド細胞と呼ばれる。注: Cork は Phellem に対する非専門語。

Kôsei-mokubu. 後生木部—→mokubu, Kôsei-.

Kôshitsu-sen'i. 膠質繊維—→sen'i, Zerachin-.

Kurasurê. クラスレー Crassula(e) (Syn. Bar(s) of Sanio (不賛), Rim(s) of Sanio (不賛)).—隣接する一次壁孔域相互の間にある細胞間層および一次壁の肥厚部 (IAWA)。訳注: Syn. サニオ線 (廃)。

Maôgata-senkôban. マオウ型せん孔板—→senkôban, Maôgata-.

Matsugata-hekikô. マツ型壁孔—→Hekikô.

Mattan-heki. 末端壁 End wall.—次の二つの場合に対して木材解剖学で用いる便宜上の用語，すなわち(a)柔細胞の長軸に直角の細胞壁，すなわち放射組織細胞の接線壁または軸方向柔細胞の水平壁および(b)二つの道管要素の間の斜めまたは水平な壁。巻末注 1。

mattan-heki, Juzujô-. じゅず状末端壁 Nodular end wall.—断面でじゅず玉状を呈する柔細胞の末端壁。

Mô-hekikô. 盲壁孔—→Hekikô-.

Mokubu. 木部 Xylem (Syn. Wood).—→Zai.

Mokubu-bosaihô. 木部母細胞 Xylem mother cell.—形成層の紡錘形始原細胞の分裂によって内側に切りはなされた細胞で，これらは木部細胞に分化する前にさらに円周に平行な面で分裂を行なう。

mokubu, Gensei-. 原生木部 Protoxylem.—最初に形成される一次木部で，環状あるいはらせん状の肥厚を有する通水要素が出現する (IAWA)。 *cf.* mokubu, Kôsei-.

Mokubu-hôsha-soshiki. 木部放射組織—→hôsha-soshiki, Mokubu-.

mokubu, Ichiji-. 一次木部 Primary xylem.—最初に形成された木部で，頂端分裂組織から分化したもの。注: ふつう髄の縁の部分に存在する。

Mokubu-jûsoshiki. 木部柔組織—→jûsoshiki, Mokubu-.

mokubu, Kôsei-. 後生木部 Metaxylem.—後期に形成された一次木部で，壁孔を有する通水要素が出現する (IAWA)。*cf.* mokubu, Gensei-.

mokubu, Niji-. 二次木部 Secondary xylem.—形成層によって形成された木部 (IAWA 修)。

Mokubu-sen'i. 木部繊維—→sen'i, Mokubu-.

Monkô. 紋孔—→Hekikô.

Mukô-zai. 無孔材—→zai, Mukô-.

Naibu-henzai. 内部辺材—→henzai, Naibu-.

Naibu-shibu. 内部師*部—→shibu, Naibu-.

Nai-juhi. 内樹皮—→juhi, Nai-.

Nai-kôkô. 内孔口—→Kôkô.

Naisoku-bôjô-jûsoshiki. 内側帽状柔組織—→jûsoshiki, Naisoku-bôjô-.

Nan-juhi. 軟樹皮—→juhi, Nan-.

Nen'eki-saihô. 粘液細胞 Mucilage cell.—放射柔組織または軸方向柔組織中の特殊化した細胞で粘液を含む; 典型的なものは外形が円味を帯びる。注: 木本の双子葉植物に限られ，内容物以外の点では油細胞に似ている。

Nenrin. 年輪 Annual ring.—材および樹皮において横断面で見た場合の1年の生長層 (IAWA)。*cf.* Seichô-rin.

Nenrinjô-jûsoshiki. 年輪状柔組織—→jûsoshiki, Tâminaru-.

Niji-heki. 二次壁—→Saihô-heki.

Niji-hôsha-soshiki. 二次放射組織—→hôsha-soshiki, Niji-.

Niji-mokubu. 二次木部—→mokubu, Niji-

Niji-shibu. 二次師*部—→shibu, Niji-.

Nyûkan. 乳管 Laticifer.—乳液を含む細胞に対する一般名。注: 乳管は単一の細胞のこともあり，また管状の細胞の連続したものの場合もある。

nyûkan, Hôsha-. 放射乳管 Latex tube (Syn. Latex canal (不賛)).—放射組織内に含まれた乳管。注: 単一の細胞が変形したものか，あるいは多くの細胞の連

なりで細胞間道ではない《乳管⑩》。

Nyûseki. 乳跡 Latex trace.—乳液を含む樹木のあるもの（特にキョウチクトウ科 Apocynaceae の *Alstonia* spp. や *Dyera* spp.）の材を放射方向に貫通する裂目状の通路（乾燥した材に現われる）を記載するに用いる語。これらは放射乳管の存在を特徴とし，またその起源を葉跡や腋芽跡（葉や腋芽に進入する維管束）に有する。誤って Latex canal とか Latex duct と呼ばれることがある。*cf.* nyûkan, Hôsha-.

Obijô-jûsoshiki. 帯状柔組織—→jûsoshiki, Obijô-.

Ôga-saihô. 横臥細胞—→Heifuku-saihô.

Ôn. オーン Awn.—→Karitorisu-gata-hikô.

Pisufurekku. ピスフレック Pith fleck.—材に囲まれた不正常な（しばしば傷害による）柔組織の束で，縦の断面では木理に沿った筋として現われる。ふつう形成層のせん孔虫の幼虫が原因となって生ずる。 訳注: Syn. 髄斑（廃）。

Rasen-hikô. らせん肥厚 Spiral thickening.—細胞壁の二次壁内面上の全面あるいは一部に存在するらせん状の隆起 (IAWA)。→Saihô-heki. 注: しばしば一次木部のらせんと区別するために三次らせん (tertiary spirals) と呼ばれるが，これは誤りである。

Rengô-yokujô-jûsoshiki. 連合翼状柔組織—→jûsoshiki, Rengô-yokujô-.

Renzujô-kôkô. レンズ状孔口—→Kôkô.

Richidômu. リチドーム Rhytidome.—コルク組織およびそれによって外側に孤立させられた組織；しばしば皮層あるいは師*部の組織の小塊を含む。外樹皮に対する専門語。注: リチドームははげ落ちて樹皮が平滑になる場合と，繊維質あるいはコルク質の厚い層となって残っている場合とがある。

Rihasei〔no〕. 離破生〔の〕 Schizo-lysigenous.—隣接する細胞の共通の壁が分離することによって組織要素が離れて生じ，さらに周囲の組織が破壊することによって発達することを示す。

Rinnai-kôkô. 輪内孔口—→Kôkô.

Rinshutsu-kôkô. 輪出孔口—→Kôkô.

Rippurumâku. リップルマーク Ripple marks.—ある種の材の接線面上に見られる細い水平の縞で，放射組織あるいは軸方向要素，またはこれらの両者が層階状配列をなすことが原因となっている。

Risei〔no〕. 離生〔の〕 Schizogenous.—隣接する細胞の共通の壁が分離することによって組織要素が離れて生ずることを示す。

Risetsu-jûsoshiki. 離接柔組織—→jûsoshiki, Risetsu-.

Risetsu-kadôkan. 離接仮道管—→kadôkan, Risetsu-.

Saihô. 細胞 Cell.—少なくともある時期に原形質体を包含する室または区画；細胞は植物組織の構成単位をなす。

Saihô-heki. 細胞壁 Cell wall.—各細胞を他から仕切る壁。成熟した細胞では個体発生的に積重ねられた次のような数層の壁からなる:

Ichiji-heki. 一次壁 Primary wall.—細胞の分化に際して分裂組織細胞の壁が変化したもの（二次壁の最初に形成される薄くて著しい異方性をもつ部分と混同してはならない；IAWA)。→saihôkansô, Fukugô-.

Niji-heki. 二次壁 Secondary wall.—一次壁の内側に形成される壁 (IAWA 修)。

Sanji-heki. 三次壁 Tertiary wall.—仮道管その他の木部繊維および道管のらせん肥厚に適用されてきた用語；また二次壁の最内層にもあてられてきた。→巻末注２。

Saihô-heki no sakeme. 細胞壁の裂目 Cell wall check.—圧縮あて材の仮道管に見られるような二次壁の裂目。

Saihôkandô. 細胞間道 Intercellular canal (Syn. Resin canal, Gum duct).—不確定の長さを有する管状の細胞間げきで，一般にエピセリウムから分泌される樹脂，ゴム質等の貯蔵に役立つ。注: 軸方向および放射方向のものがある(IAWA 修)。*cf.* saihôkankô. 訳注: Syn. 細胞間溝（廃）。

saihôkandô, Shôgai-. 傷害細胞間道 Traumatic intercellular canal.—生立木が受けた傷害に反応して形成される細胞間道。注: しばしば大きさは異常で，軸方向または放射方向に走る。

saihôkandô, Suihei-. 水平細胞間道 Radial intercellular canal.—放射方向に木理を横切ってのびる管状の細胞間げきで，紡錘形放射組織中に含まれる。

Saihôkangeki. 細胞間げき Intercellular space.—細胞間の空げき。二つの型が区別できる。

Bunpitsusei-saihôkangeki. 分泌性細胞間げき Secretory intercellular space.—細胞間道および細胞間こう**を含み，これらは離生，破生または離破生のいずれかである。

Hibunpitsusei-saihôkangeki. 非分泌性細胞間げき Non-secretory intercellular space, interstitial space.—単なる細胞の間げき。

* 〔〔篩〕〕
** 〔〔腔〕〕

Saihôkankô. 細胞間こう** Intercellular cavity.—限られた長さを有する細胞間げきで，一般に樹脂，ゴム質等の貯蔵に役立ち，また一般に生立木の受けた傷害に反応して形成される。*cf.* Saihôkandô.

Saihôkansô. 細胞間層 Intercellular layer (Syn. Middle lamella (不賛))。隣接する細胞間の層；等方性でセルロースを欠く (IAWA 修)。《中層㊥》。注：細胞間層はしばしば一次壁との境が漸進的で不明確で(→saihôkansô, Fukugô-.)，それを区別するには特別の技術を要することもある。

saihôkansô, Fukugô-. 複合細胞間層 Compound middle lamella.—隣接する細胞の二次壁の間の複合層に対する木材解剖学上の便宜的な用語で，二つの一次壁と厚さが種々に異なる細胞間層とからなる。注：Middle lamella という言葉は，しばしばこの複合構造に対して漠然と用いられてきた。

Saihô-naikô. 細胞内こう** Lumen, pl. Lumina.—細胞壁に囲まれた内腔。

Sanio-sen. サニオ線 Bar(s) of Sanio.—→Kurasurê および Torabekyurê.

Sanji-heki. 三次壁—→Saihô-heki.

Sankô-zai. 散孔材—→zai, Sankô-.

Sanzaigata-zainai-shibu. 散在型材内師*部—→shibu, Zainai-.

Sanzai-jûsoshiki. 散在柔組織—→jûsoshiki, Sanzai-.

Sashô. 砂晶—→Kesshô.

Saya-saihô. さや細胞 Sheath cell.—接線断面で見た場合に，多列放射組織の平伏細胞群の上下のへりに存在し，かつ周囲をさや状に包む傾向に配列した直立細胞。

Seichôrin. 生長輪 Growth ring.—材および樹皮において横断面で見た場合の生長層 (IAWA 修)。

seichôrin, Furenzoku-. 不連続生長輪 Discontinuous growth ring.—幹の全周を囲っていない生長輪。

Seichôrin-kai. 生長輪界 Growth ring boundary.—生長輪の外縁 (IAWA)。

Seichôsô. 生長層 Growth layer.—明らかに1生長期間に形成された材または樹皮の層；しばしば，特に温帯の木材では，早材または早樹皮および晩材または晩樹皮に分けられる (IAWA)。

Sekisaihô. 石細胞 Stone cell (Syn. Brachysclereid).—ほぼ等径の細胞で顕著な層状構造をなした非常に厚い二次壁をもち，しばしば分岐壁孔が存在する。例：厚壁チロース。→Sukurereido.

Sen'i. 繊維 Fibre, Fiber (Am.).—木材解剖学上，材およびじん皮にあって道管および柔組織以外のすべての細長い細胞に対して用いられる便宜上の総称。注：しばしば，さらに木部繊維またはじん皮繊維と限定して表現される；前者は裸子植物の仮道管と木本被子植物の真正木繊維および繊維状仮道管を含む。また木部の要素一般に漠然と用いられる場合もある。

sen'i, Chûkan-. 中間繊維 Intermediate fibre.—→jûsaihô, Bôsuikei-.

sen'i, Daiyô-. 代用繊維 Substitute fibre.—→jûsaihô, Bôsuikei-.

sen'i, Jinpi-. じん皮繊維 Bast fibre.—師*部の繊維。

sen'i, Kakuheki-moku-. 隔壁木繊維 Septate wood fibre.—細胞内こう**を横切る薄い水平壁をもつ木部繊維 (IAWA)。注：これらの細胞では原形質体は二次壁の形成後に分割される。

sen'i, Mokubu-. 木部繊維 Wood fibre.—木部の繊維。

sen'i, Shinsei-moku-. 真正木繊維 Libriform wood fibre.—細長くて一般に厚壁をもち，かつ単壁孔をもつ細胞；ふつう道管要素および柔細胞ストランドの長さから推測した形成層始原細胞の長さより明らかに長い (IAWA)。—Sen'ijô-kadôkan の注。

sen'i, Zerachin-. ゼラチン繊維 Gelatinous fibre (Syn. Mucilaginous fibre (廃)).—細胞壁の内側の木化の程度が多少とも悪く，かつ膠質状を呈する繊維。 訳注：Syn. 膠質繊維。

Sen'ijô-dôkan-yôso. 繊維状道管要素—→dôkan-yôso, Sen'ijô-.

Sen'ijô-kadôkan. 繊維状仮道管 Fibre-tracheid.—繊維状の仮道管；ふつう厚壁で細胞内こう**が小さく両端が尖り，有縁壁孔対はレンズ状ないし線形の孔口をもつ (IAWA 修)。この用語は木本被子植物の繊維状の仮道管に対してのみでなく，裸子植物の晩材部仮道管に対しても用いられる。

注：繊維状仮道管および真正木繊維の定義はかなり困難である。たとえばサルナシ属 (*Dillenia*) に見られる繊維状仮道管や，また層階状構造に伴って生ずる真正木繊維のような極端な型は別として，中間的な型について所属を決め定義を下す場合に困難を感ずる。ここで従った1933年の用語集は，これら二つの型の最も簡単で最も実際的な差別点として，有縁壁孔の存否を採用した。従って痕跡的な縁を持った壁孔のある中間型は，すべて繊維状仮道管とされた (→I. W. Bailey: *Trop. Woods*, **45**, 18—23, 1936).

もう一つの考え方は，Sachs の分け方に従って Janssonius (→E. Reinders: *Trop. Woods*, **44**, 30—36, 1936) が用いたもので，中間型を除外して厳密に限定されたもののみを繊維状仮道管とする考え方である。1951年に Reinders (IAWA News Bull. Eeb., 1951, 6—9) は，繊維状仮道管に対する定義を次のように提案している："長さ中庸；ふつう厚くて明らかに多少膨潤した細胞壁をもち，まれに膠質層をもつ；隔壁をもつことはほとんどない；決して澱粉を含まない；有縁壁孔は，やや大きめで孔口はレンズ状ないし線形である。壁孔は接線面に比較的多く，放射面の壁よりも多数ある場合がかなりある。このような繊維が基礎組織をなす場合，道管と接した面の壁孔は大体道管相互の壁孔とほとんど同じ大きさの壁孔縁をもつ"。このReinders のような考え方は，当然これに対応して真正木繊維の定義の変更が伴わなければならなくなる。この用語集で定義したように，繊維状仮道管は同類要素との間に有縁壁孔をもっている以上，厳密には仮道管の1型である。

Senkei-hekikô. 線形壁孔— →Hekikô.

senkô, Dôkan-. 道管せん孔 Vessel perforation.—一つの道管要素から他の道管要素に通ずる穴 (IAWA)。

senkô, Takô-. 多孔せん孔 Multiple perforation.—一つのせん孔板に2またはそれ以上の穴をもつ道管せん孔 (IAWA 修)。*cf.* senkô, Tan-.

senkô, Tan-. 単せん孔 Simple perforation.—一つのせん孔板にふつう大型で，かつ多少円味を帯びた単一の穴をもつ道管せん孔。*cf.* senkô, Takô- (IAWA)。

Senkôban. せん孔板 Perforation plate.—道管内において2個の道管要素が互いに癒合する細胞壁面（はじめはせん孔がない）に対する便宜上の用語 (IAWA)。

senkôban, Amijô-. 網状せん孔板 Reticulate perforation plate.—網目状を呈する多孔せん孔のあるせん孔板（ノウゼンカズラ科 Bignoniaceae のある種のものに見られるものが好例である) (IAWA)。

senkôban, Kaidan-. 階段せん孔板 Scalariform perforation plate.—細長くて平行な穴をもつ多孔せん孔のあるせん孔板。穴の間に残された部分を Bar(s) と呼ぶ (IAWA)。

senkôban, Maôgata-. マオウ型せん孔板 Ephedroid perforation plate.—円形の穴が小さい群をなしているせん孔板（マオウ属 *Ephedra* に好例が見られる）(IAWA)。

Senkôen. せん孔縁 Perforation rim.—単せん孔の周囲に縁をなしているせん孔板の残存部 (IAWA)。

Shashutsusen. 射出線— →Hôsha-soshiki.

Shiban. 師*板 Sieve plate.—師*管要素の壁の特殊化した部分で，その部分にはある場合には単一の師*域をもち (Simple sieve plate)，ある場合には非常に近接した数個の師*域が，多くの場合階段状あるいは網状に配列している (Compound sieve plate)。

Shibu. 師*部 Phloem.—維管束植物の主要な同化栄養分通導組織，一次組織にも二次組織にも生じ，通常（必ずしも"常に"ではない）木部と関連して存在する。大多数の裸子植物および双子葉植物の茎では二次師*部と二次木部の間には，その両者を派生する形成層が挾まれて存在する。師*部を構成する細胞の基本的な型は師*細胞，師*管，柔細胞，繊維およびスクレレイドである。

shibu, Ichiji-. 一次師*部 Primary phloem.—最初に形成される師*部；茎と根では明確な形成層が認められる以前に頂端分裂組織の下に分化する。

shibu, Naibu-. 内部師*部 Internal phloem (Syn. Intraxylary phloem(不賛), Perimedullary phloem).——次木部の内側に存在する一次師*部 (IAWA)。

shibu, Niji-. 二次師*部 Secondary phloem.—通常形成層によって形成される樹皮の部分 (IAWA)。*cf.* Shibu.

shibu, Zainai-. 材内師*部 Included phloem (Syn. Interxylary phloem(不賛)).—ある種の広葉樹材の二次木部内に包まれる束状または層状の師*部。二つの型が区別できる：

Dôshingata. 同心型 Concentric (Corpus lignosum circumvallatum) (Syn. *Avicennia* type).—形成層は短命で，新しい分裂組織がこれに代って内鞘または皮層の中に発生し若い茎の構造を反復する。このようにして，茎は木部と師*部の交互の層からなる。
訳注：Syn. ヒルギダマシ型。

Sanzaigata. 散在型 Foraminate. (Corpus lignosum foraminatum) (Syn. *Strychnos* type).—単一の永久形成層が茎の一生を通じて機能を続け，木部はその中に師*部の条束を含む点を除けば正常である。
訳注：Syn. マチン型。

Shibu-bosaihô. 師*部母細胞 Phloem mother cell.—形成層の紡錘形始原細胞から外方に派生した細胞で，なお師*部細胞に分化する前に，さらに周縁に沿った分裂を行なう。

---

* 〔〔篩〕〕

Shibu-hôsha-soshiki. 師*部放射組織— →hôsha-soshiki, Shibu-.

Shibu-jûsoshiki. 師*部柔組織— →jûsoshiki, Shibu-.

Shiiki. 師*域 Sieve area (Syn. Sieve field).—師*細胞あるいは師*管要素の壁の薄くなった部分で，小さい穴がふるい状に集まって開いており，隣接する師*細胞あるいは師*管要素同志の原形質体がこの穴を通してつながっている。

Shikan. 師*管 Sieve tube.—師*部における栄養物質を通導する管で，師*管要素が軸方向に連続して構成される。

Shikan-yôso. 師*管要素 Sieve tube member.—師*部における細長い通導細胞で，これらの細胞が軸方向に上下の端で接して連続した師*管を形成する。上下の細胞の共通の壁が師*板であって，これは水平の場合から傾斜した場合まで種々である。ときに上下の端以外の壁上に，分化の程度の低い師*域をもつ場合がある。

Shinsei-moku-sen'i. 真正木繊維— →sen'i, Shinsei-moku-.

Shinzai. 心材 Heartwood (Syn. Duramen (廃)).—材の内方の層であって，その部分では樹木の生立時すでに生活細胞を失い，かつ生活細胞の内容物であった貯蔵物質（たとえば澱粉）は消滅するか心材物質に転化してしまっている。必ずしもはっきり区別できないけれども，一般に辺材より色が濃い。→zai, Ikô-.

注：濃色の心材と，色では辺材との間に差が認められない心材とが往々区別される；熟材という用語が後者に当てられる。商業上の慣習では，心材という用語は辺材から視覚的に区別できる濃色の材に限られるのがふつうである。

Shi-saihô. 師*細胞 Sieve cell.—師*部における細長い通導細胞で，師*管を構成する要素と異なり，比較的分化の程度の低い師*域が，特に他の師*細胞と重り合う先端の部分に多く存在する。

Shôgai-jûsoshiki. 傷害柔組織— →jûsoshiki, Shôgai-.

Shôgairin. 傷害輪 Traumatic ring.—傷害を受けた形成層によって作られた傷害組織の帯。注：ふつうは霜(一般におそ霜)，ひでりおよび火災が原因となる。この組織は一般に不規則な形の傷害柔組織を含み，かつゴム質あるいは樹脂の存在によって濃く着色している傾向がある；細胞間道および drought cracks が往々存在する。原因がわかっている場合には霜輪，乾輪などと呼ばれる。

Shôgai-saihôkandô. 傷害細胞間道— → saihôkandô, Shôgai-.

Shûdan-kankô. 集団管孔— →kankô, Shûdan-.

Shûgô-hôsha-soshiki. 集合放射組織— →hôsha-soshiki, Shûgô-.

Shûhi. 周皮 Periderm.—表皮に代って古い茎および根の不透水性の外被をなす層で，コルク組織，コルク形成層およびコルク皮層からなる。

Shûi-jûsoshiki. 周囲柔組織— →jûsoshiki, Shûi-.

Shûi-kadôkan. 周囲仮道管— →kadôkan, Shûi-.

Shun-zai. 春材— →zai, Shun-.

Shûshô. 集晶— →Kesshô.

Shû-zai. 秋材— →zai, Ban-.

Sô-juhi. 早樹皮— →juhi, Sô-.

Sôkaijô. 層階状 Storied (Storeyed).—材における軸方向の細胞あるいは放射組織が接線断面において水平方向に並んで配列した場合に，これらの細胞あるいは組織に対して用いられる用語。注：この用語は，たとえば“層階状柔組織”のように特定の組織に対して用いられる場合と，“層階状構造を有する材”というように一般的に用いられる場合とある。層階状構造の存在は，肉眼で認められるリップルマークの原因である。

Sôkaijô-hairetsu-yôso. 層階状配列要素— →yôso, Sôkaijô-hairetsu-.

Sôkaijô-keiseisô. 層階状形成層— →keiseisô, Sôkaijô-.

Sokuheki. 側壁 Longitudinal wall.— →巻末注1.

Sokushô. 束晶— →Kesshô.

Sôrin. 霜輪 Frost ring.— →Shôgairin.

Sô-zai. 早材— →zai, Sô-.

Sugigata-hekikô. スギ型壁孔— →Hekikô.

Suihei-heki. 水平壁 Transverse wall.— →巻末注1.

Suihei-saihôkandô. 水平細胞間道— →saihôkandô, Suihei-.

Sukurereido. スクレレイド Sclereid (Syn. Sclerotic cell).—機械的強度を受持つ要素で，紡錘組織の細胞の性質を完全には示さずに，厚くてしばしば木化した二次壁をもち，完成した後はふつう原形質体を欠く。注：スクレレイドは多面体から多少細長くてしばしば枝分れしたものまで，いろいろの形を示す。材および樹皮にふつうに見出される型は石細胞である。このような細胞は，しばしば“sclerotic”という言葉で形容される；たとえば“sclerotic ray cell”というように。

Sutorando-kadôkan. ストランド仮道管— →kadôkan, Sutorando-.

Tairetsu-hekikô. 対列壁孔— →hekikô, Tairetsu-.

Tairu-saihô. タイル細胞 Tile cell.—平伏細胞とほぼ

同じ高さでありながら直立細胞であり，明らかに内容物を全く欠く特殊の放射組織細胞であって，ふつう平伏細胞の間に混っていろいろの長さに水平方向に連続している (IAWA 修)。注: シナノキ目 Tiliales, アオイ目 Malvales 中のある樹種にふつうに出現する。

Takô-senkô. **多孔せん孔**— →senkô, Takô-.

Tâminaru-jûsoshiki. **ターミナル柔組織**— →jûsoshiki, Tâminaru-.

Tan-hekikô. **単壁孔**— →Hekikô.

Tan-hekikô-tsui. **単壁孔対**— →hekikôtsui, Tan-.

Tanretsu-hôsha-soshiki. **単列放射組織**— →hôsha-soshiki, Tanretsu-.

Tan-senkô. **単せん孔**— →senkô, Tan-.

Tan-sessenjô-jûsoshiki. **短接線状柔組織**— →jûsoshiki, Tan-sessenjô-.

Taretsu-hôsha-soshiki. **多列放射組織**— →hôsha-soshiki, Taretsu-.

Tashitsu-kesshô-saihô. **多室結晶細胞**— →kesshô-saihô, Tashitsu-.

Tôhigata-hekikô. **トウヒ型壁孔**— →Hekikô.

Torabekyurê. **トラベキュレー** Trabecula, pl. trabeculae (Syn. Beam(s) of Sanio (不賛). Bar(s) of Sanio (不賛)). —細胞壁の一部で，細胞内こう*を横切って放射方向に突出した桿状あるいは糸巻状の部分(IAWA)。
訳注: Syn. サニオ線(廃)。

Tôrusu. **トールス** Torus. — →Hekikô-heki.

Tsûsui-yôso. **通水要素** Tracheary element. —木部における主要な水分通導の要素で，大体において道管要素と仮道管を指す (IAWA)。注: 一次木部においては通水要素は環状，らせん状あるいは網状の肥厚のみをもち，壁孔を欠くことがある。

Yokujô-jûsoshiki. **翼状柔組織**— →jûsoshiki, Yokujô-.

Yôso. **要素** Element. —個々の細胞に対して用いられる一般名。注: 木材解剖学で，特に道管とそれらの構成単位である個々の細胞（道管要素）を区別するのに用いられる。

yôso, Dôrui-. **同類要素** Congeneric elements. —同じ解剖学的類型の細胞。

yôso, Jikuhôkô-. **軸方向要素** Axial elements (Syn. Vertical elements (不賛)). —木材解剖学で，放射組織細胞以外のすべての細胞に対して用いる便宜上の用語。

yôso, Sôkaijô-hairetsu-. **層階状配列要素** Storied elements. —接線面で見た場合に層状に配列した細胞。

Yûen-hekikô. **有縁壁孔**— →Hekikô.

Yûen-hekikô-tsui. **有縁壁孔対**— →hekikô-tsui, Yûen-.

Yûkô-zai. **有孔材**— →zai, Yûkô-.

Yu-saihô. **油細胞** Oil cell. —放射柔組織または軸方向柔組織中の特殊化した細胞で油を含む; 典型的なものは外形が円味を帯びる。注: 木本の双子葉類に限られ，内容物以外の点では粘液細胞に似ている。

Zai. **材** Wood (Syn. Xylem). —茎および根の強度および水分通導に主として役立つ組織。通水要素を有するのが特徴である。

zai, Asshuku-ate-. **圧縮あて材** Compression wood (Syn. Glassy wood, Hard streak, Red wood, Rotholz) —典型的には針葉樹の枝あるいは傾斜・弯曲した幹の下側にできるあて材で，解剖学的には横断面が円味を持ち，細胞壁にらせん状の裂目を有する極端に木化された仮道管の存在が特徴である; 圧縮あて材の帯は，典型的には周囲の組織に比して密で濃色である。 *cf.* zai, Hippari-ate-.

zai, Ate-. **あて材** Reaction wood. —幹や枝を元来の正しい位置に保持しようとするために，その正しい位置が乱された場合に，傾斜あるいは弯曲した幹および枝の部分にできる多少とも特異な解剖学的性質を示す木部。注: 広葉樹類では引張あて材となり，針葉樹類では圧縮あて材となる。

zai, Ban-. **晩材** Late wood (Syn. Autumn wood (不賛), Summer wood). —生長輪の中で密度が高く細胞が小さく，生長期の後半に形成された部分 (IAWA)。
訳注: Syn. 夏材，秋材。

zai, Hankankô-. **半環孔材** Semi-ring-porous wood. —早材が(a)偶発的な大きい道管の帯，または(b)多数の小道管の帯によって確認される材。

zai, Hippari-ate-. **引張あて材** Tension wood (Syn. Zugholz). —典型的には広葉樹の枝あるいは傾斜・弯曲した幹の上側にできるあて材で，解剖学的には繊維の細胞壁の木化の欠如，およびときに内側に膠質層の存在が特徴である。*cf.* zai, Asshuku-ate-.

zai, Ikô-. **移行材** Intermediate wood. —辺材の最も内側で，色やその他一般的性質が辺材と心材の中間的な部分。

zai, Ka-. **夏材** Summer wood. — →zai, Ban-.

zai, Kankô-. **環孔材** Ring-porous wood. —早材の道管が晩材のそれよりも明らかに大きく，著しい帯あるいは輪を形成する材。*cf.* zai, Sanko- (BSI 修)。

zai, Mukô-. **無孔材** Non-pored wood (Syn. Non-porous

* 〔〔腔〕〕
** 〔〔飾〕〕

wood (不賛)). —道管を欠く材; 針葉樹材の特徴。*cf.* zai, Yûkô-.

zai, Sankô-. 散孔材 Diffuse-porous wood. —生長輪全体にわたって道管の大きさおよび配列がほぼ一様かあるいは, ごくゆるやかな変化しか見せない材 (IAWA)。

zai, Shû-. 秋材— →zai, Ban-.

zai, Shun-. 春材 Spring wood. — →zai, Sô-.

zai, Sô-. 早材 Early wood (Syn. Spring wood). —生長輪の中で密度が低く, 細胞が大きく, 生長期の始めに形成された部分 (IAWA)。訳注: Syn.春材。

zai, Yûkô-. 有孔材 Pored wood (Syn. Porous wood (不賛)). —道管をもつ木材; 針葉樹材に対比した場合に広葉樹材の典型。

Zainai-shibu. 材内師**部— →shibu, Zainai-.

Zerachin-sen'i ゼラチン繊維— →sen'i, Zerachin-.

Zui. 髄 Pith. —茎 (幹) の中心部で主として柔組織からなる (BSI)。

Zuihan. 髄斑— →Pisufurekku.

Zuihan-jûsoshiki. 随伴柔組織— →jûsoshiki, Zuihan-.

Zuihan-sanzai-jûsoshiki. 随伴散在柔組織— →jûsoshiki, Zuihan-sanzai-.

Zuisen. 髄線— →Hôsha-soshiki.

II 英和の部

Apical meristem. Chôtan-bunretsu-soshiki 頂端分裂組織

Awn. Ôn オーン

Bark. Juhi 樹皮

Bark, early. Sô-juhi 早樹皮

Bark, hard. Kô-juhi 硬樹皮

Bark, inner. Nai-juhi 内樹皮

Bark, late. Ban-juhi 晩樹皮

Bark, outer. Gai-juhi 外樹皮

Bark, soft. Nan-juhi 軟樹皮

Bar(s) of Sanio. Sanio-sen サニオ線(廃)

Brachysclereid. Sekisaihô 石細胞

Callitrisoid, callitroid thickening. Karitoris-gata-hikô. カリトリス型肥厚

Cambial initial. Keiseisô-shigen-saihô 形成層始原細胞

Cambial zone. Keiseisô-tai 形成層帯

Cambium (vascular cambium). Keiseisô 形成層

Cambium, cork. Koruku-keiseisô コルク形成層

Cambium, storied. Sôkaijô-keiseisô 層階状形成層

Cell. Saihô 細胞

Cell wall. Saihô-heki 細胞壁

Primary. Ichiji-heki 一次壁

Secondary. Niji-heki 二次壁

Tertiary. Sanji-heki 三次壁

Cell wall check. Saihô-heki no sakeme 細胞壁の裂目

Chambered crystalliferous cell. Tashitsu-kesshô-saihô 多室結晶細胞

Companion cell. Hansaihô 伴細胞

Conjunctive tissue. Ketsugô-jûsoshiki 結合柔組織

Cork. Koruku コルク

Cortex. Hisô 皮層

Crassula(e). Kurasurê クラスレー

Cross-field. Bun'ya 分野

Crystal. Kesshô 結晶

Acicular. Shinshô 針晶《針状結晶㊥》

Crystal sand. Sashô 砂晶

Druse. Shûshô 集晶

Raphid(e), raphis, pl. raphides. Sokushô 束晶

Styloid. Chûshô 柱晶

Crystalliferous cell. Kesshô-saihô 結晶細胞

Crystalliferous cell, chambered Tashitsu-kesshô-saihô 多室結晶細胞

Druse. Shûshô 集晶

Element. Yôso 要素

Elements, axial. Jikuhôkô-yôso 軸方向要素

Elements, congeneric. Dôrui-yôso 同類要素

Elements, storied. Sôkaijô-hairetsu-yôso 層階状配列要素

Elements, vertical. Jikuhôkô-yôso 軸方向要素

End wall. Mattan-heki 末端壁

End wall, nodular. Juzujô-mattan-heki じゅず状末端壁

Epidermis. Hyôhi 表皮

Epithelial cell. Episeriumu-saihô エピセリウム細胞

Epithelium. Episeriumu エピセリウム

Fibre, Fiber (Am.). Sen'i 繊維

Fibre, bast. Jinpi-sen'i じん皮繊維

Fibre, gelatinous. Zerachin-sen'i ゼラチン繊維 (Syn. 膠質繊維)

Fibre, intermediate. Chûkan-sen'i 中間繊維(廃)

Fibre, libriform wood. Shinsei-moku-sen'i 真正木繊維

Fibre, mucilaginous. Zerachin-sen'i ゼラチン繊維 (Syn. 膠質繊維)

Fibre, septate wood. Kakuheki-moku-sen'i 隔壁木繊維
Fibre, substitute. Daiyô-sen'i 代用繊維(廃)
Fibre, wood. Mokubu-sen'i 木部繊維
Fibre, tracheid. Sen'ijô-kadôkan 繊維状仮道管
Fibril. Fiburiru フィブリル
Fibril angle. Fiburiru-keikaku フィブリル傾角
Fusiform (cambial) initial. Bôsuikei-shigen-saihô 紡錘形始原細胞
Fusiform parenchyma cell. Bôsuikei-jûsaihô 紡錘形柔細胞
Fusiform ray. Bôsuikei-hôsha-soshiki 紡錘形放射組織
Gelatinous fibre. Zerachin-sen'i ゼラチン繊維 (Syn. 膠質繊維)
Growth layer. Seichôsô 生長層
Growth ring. Seichôrin 生長輪
Growth ring boundary. Seichôrin-kai 生長輪界
Gum duct. Gomudô ゴム道
Heartwood. Shinzai 心材
Heterogeneous ray tissue. Isei-hôsha-soshiki-gata 異性放射組織型
Homogeneous ray tissue. Dôsei-hôsha-soshiki-gata 同性放射組織型
Idioblast. Ikei-saihô 異形細胞
Indenture. Indenchâ インデンチャー
Initial, cambial. Keiseisô-shigen-saihô 形成層始原細胞
Initial, ray. Hôsha-soshiki-shigen-saihô 放射組織始原細胞
Intercellular canal. Saihôkandô 細胞間道
Intercellular canal, radial. Suihei-saihôkandô 水平細胞間道
Intercellular canal, traumatic. Shôgai-saihôkandô 傷害細胞間道
Intercellular cavity. Saihôkankô 細胞間こう〔〔腔〕〕
Intercellular layer. Saihôkansô 細胞間層《中層㊟》
Intercellular space. Saihôkangeki 細胞間げき
Secretory. Bunpitsusei〔saihôkangeki〕 分泌性〔細胞間げき〕
Non-secretory. Hibunpitsusei〔saihôkangeki〕 非分泌性〔細胞間げき〕
Intermediate wood. Ikô-zai 移行材
Interstitial space. Hibunpitsusei-saihôkangeki 非分泌性細胞間げき
Lamella, compound middle. Fukugô-saihôkansô 複合細胞間層
Lamella, middle. Saihôkansô 細胞間層《中層㊟》
Latex canal. Hôsha-nyûkan 放射乳管
Latex trace. Nyûseki 乳跡
Latex tube. Hôsha-nyûkan 放射乳管《乳管㊟》
Laticifer. Nyûkan 乳管
Lenticel. Himoku 皮目
Longitudinal wall. Sokuheki 側壁
Lumen, pl. lumina. Saihô-naikô 細胞内こう〔〔腔〕〕
Lysigenous. Hasei〔no〕 破生〔の〕
Medullary ray. Ichiji-hôsha-soshiki 一次放射組織《放射組織㊟》
Meristem. Bunretsu-soshiki 分裂組織
Meristem, apical. Chôtan-bunretsu-soshiki 頂端分裂組織
Metaxylem. Kôsei-mokubu 後生木部
Middle lamella. Saihôkansô 細胞間層《中層㊟》
Mucilage cell. Nen'eki-saihô 粘液細胞
Nodular end wall. Juzujô-mattan-heki じゅず状末端壁
Oil cell. Yu-saihô 油細胞
Parenchyma. Jûsoshiki 柔組織
Parenchyma, abaxial. Gaisoku-bôjô-jûsoshiki 外側帽状柔組織
Parenchyma, adaxial. Naisoku-bôjô-jûsoshiki 内側帽状柔組織
Parenchyma, aliform. Yokujô-jûsoshiki 翼状柔組織
Parenchyma, apotracheal. Dokuritsu-jûsoshiki 独立柔組織
Parenchyma, axial. Jikuhôkô-jûsoshiki 軸方向柔組織
Parenchyma, banded. Obijô-jûsoshiki 帯状柔組織
Parenchyma, confluent. Rengô-yokujô-jûsoshiki 連合翼状柔組織
Parenchyma, diffuse. Sanzai-jûsoshiki 散在柔組織
Parenchyma, diffuse-in-aggregates. Tan-sessenjô-jûsoshiki 短接線状柔組織
Parenchyma, disjunctive. Risetsu-jûsoshiki 離接柔組織
Parenchyma, initial. Inishiaru-jûsoshiki イニシアル柔組織
Parenchyma, longitudinal. Jikuhôkô-jûsoshiki 軸方向柔組織

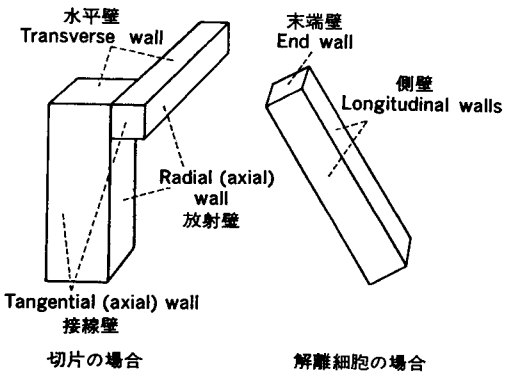
Parenchyma, metatracheal. Dokuritsu-obijô-jûsoshiki 独立帯状柔組織
Parenchyma, paratracheal. Zuihan-jûsoshiki 随伴柔組織
Parenchyma, phloem. Shibu-jûsoshiki 師部柔組織〔〔篩〕〕
Parenchyma, ray. Hôsha-jûsoshiki 放射柔組織
Parenchyma, reticulate. Amijô-jûsoshiki 網状柔組織
Parenchyma, scalariform. Kaidan-jûsoshiki 階段柔組織
Parenchyma, scanty paratracheal. Zuihan-sanzai-jûsoshiki 随伴散在柔組織
Parenchyma, terminal. Tâminal-jûsoshiki ターミナル柔組織 (Syn. 年輪状柔組織)
Parenchyma, traumatic. Shôgai-jûsoshiki 傷害柔組織
Parenchyma, unilaterally paratracheal. Bôjô-jûsoshiki 帽状柔組織
Parenchyma, vasicentric. Shûi-jûsoshiki 周囲柔組織
Parenchyma, vertical. Jikuhôkô-jûsoshiki 軸方向柔組織
Parenchyma, wood. Mokubu-jûsoshiki 木部柔組織
Parenchyma, wound. Shôgai-jûsoshiki 傷害柔組織
Parenchyma, xylem. Mokubu-jûsoshiki 木部柔組織
Parenchyma cell, fusiform. Bôsuikei-jûsaihô 紡錘形柔細胞
Parenchyma cell, septate. Kakuheki-jûsaihô 隔壁柔細胞
Parenchyma strand. Jûsaihô-sutorando 柔細胞ストランド
Perforation, multiple. Takô-senkô 多孔せん孔
Perforation, simple. Tan-senkô 単せん孔
Perforation, vessel. Dôkan-senkô 道管せん孔
Perforation, plate. Senkôban せん孔板
Perforation plate, ephedroid. Maôgata-senkôban マオウ型せん孔板
Perforation plate, reticulate. Amijô-senkôban 網状せん孔板
Perforation plate, scalariform. Kaidan-senkôban 階段せん孔板
Perforation rim. Senkôen せん孔縁
Periderm. Shûhi 周皮
Phellem. Koruku-soshiki コルク組織
Phelloderm. Koruku-hisô コルク皮層
Phellogen. Koruku-keiseisô コルク形成層
Phelloid cell. Feroido-saihô フェロイド細胞
Phloem. Shibu 師部〔〔篩〕〕
Phloem, included. Zainai-shibu 材内師部〔〔篩〕〕
  Concentric. Dôshingata〔zainai-shibu〕同心型〔材内師部〕
  Foraminate. Sanzaigata〔zainai-shibu〕散在型〔材内師部〕
Phloem, internal. Naibu-shibu 内部師部〔〔篩〕〕
Phloem, primary. Ichiji-shibu 一次師部〔〔篩〕〕
Phloem, secondary. Niji-shibu 二次師部〔〔篩〕〕
Phloem mother cell. Shibu-bosaihô 師部母細胞〔〔篩〕〕
Phloem ray. Shibu-hôsha-soshiki 師部放射組織〔〔篩〕〕
Pit. Hekikô 壁孔 (Syn. 紋孔)
  Blind. Mô-hekikô 盲壁孔
  Bordered. Yûen-hekikô 有縁壁孔 (Syn. 重紋孔)
  Cupressoid. Hinokigata-hekikô ヒノキ型壁孔
  Fenestriform. Madojô-hekikô 窓状壁孔
  Half-bordered. Han'en-hekikô 半縁壁孔 (Syn. 半重紋孔)
  Linear. Senkei-hekikô 線形壁孔
  Piceoid. Tôhigata-hekikô トウヒ型壁孔
  Pinoid. Matsugata-hekikô マツ型壁孔
  Ramiform. Bunki-hekikô 分岐壁孔
  Simple. Tan-hekikô 単壁孔
  Taxodioid. Sugigata-hekikô スギ型壁孔
  Vestured. Besuchâdo-hekikô ベスチャード壁孔
  Window-like. Madojô-hekikô 窓状壁孔
Pit aperture. Kôkô 孔口 (Syn. 開口—廃)
  Coalescent. Ketsugô-kôkô 結合孔口
  Extended. Rinshutsu-kôkô 輪出孔口
  Included. Rinnai-kôkô 輪内孔口
  Inner. Nai-kôkô 内孔口
  Lenticular. Renzujô-kôkô レンズ状孔口
  Outer. Gai-kôkô 外孔口
Pit border. Hekikô-en 壁孔縁《へり〔膜孔の〕㊟》
Pit canal. Hekikô-dô 壁孔道 (Syn. 紋孔溝—廃)
Pit cavity. Hekikô-kô 壁孔こう〔〔腔〕〕
Pit chamber. Hekikô-shitsu 壁孔室《室〔膜孔の〕㊟》
Pit membrane. Hekikô-heki 壁孔壁, Hekikô-maku

壁孔膜《閉鎖膜⑩》
Pit-field, primary. Ichiji-hekikô-iki 一次壁孔域
Pit-pair. Hekikô-tsui 壁孔対
Pit-pair, aspirated. Heisoku-hekikô-tsui 閉そく壁孔対
Pit-pair, bordered. Yûen-hekikô-tsui 有縁壁孔対
Pit-pair, half-bordered. Han'en-hekikô-tsui 半縁壁孔対
Pit-pair, simple. Tan-hekikô-tsui 単壁孔対
Pith. Zui 髄
Pith ray. Ichji-hôsha-soshiki 一次放射組織
Pith fleck. Pisufurekku ピスフレック (Syn. 髄斑—廃)
Pitting. Hekikô (Sonzai to hairetsu) 壁孔 (存在と配列)
Pitting, alternate. Kôgo-hekikô 交互壁孔
Pitting, cross-field. Bun'ya-hekikô 分野壁孔
Pitting, intervascular. Dôkan-sôgo-hekikô 道管相互壁孔
Pitting, opposite. Tairetsu-hekikô 対列壁孔
Pitting, ray-vessel. Dôkan-hôsha-soshiki-kan-hekikô 道管放射組織間壁孔
Pitting, scalariform. Kaidan-hekikô 階段壁孔
Pitting, sieve. Furuijô-hekikô ふるい状壁孔〔〔篩〕〕
Pitting, unilaterally compound. Henpuku-hekikô 片複壁孔
Pore. Kandô 管孔
Pore, solitary. Koritsu-kankô 孤立管孔
Pore chain. Kusarijô-kankô 鎖状管孔
Pore cluster. Shûdan-kankô 集団管孔
Pore multiple. Fukugô-kankô 複合管孔
Prosenchyma. Bôsui-soshiki 紡錘組織
Protoplast. Genkeishitsu-tai 原形質体
Protoxylem. Gensei-mokubu 原生木部
Radial pore multiple. Hôsha-fukugô-kankô 放射複合管孔
Radial parenchyma. Hôsha-jûsoshiki 放射柔組織
Raphid(es). Sokushô 束晶
Ray. Hôsha-soshiki 放射組織 (Syn. 髄線, 射出線)
Ray, heterogeneous. Isei-hôsha-soshiki 異性放射組織
Ray, homogeneous. Dôsei-hôsha-soshiki 同性放射組織
Ray, heterocellular. Ikei-hôsha-soshiki 異形放射組織
Ray, homocellular. Dôkei-hôsha-soshiki 同形放射組織
Heterogeneous ray tissue. Isei-hôsha-soshiki-gata 異性放射組織型
Homogeneous ray tissue. Dôsei-hôsha-soshiki-gata 同性放射組織型
Ray, aggregate. Shûgô-hôsha-soshiki 集合放射組織
Ray, fusiform. Bôsuikei-hôsha-soshiki 紡錘形放射組織
Ray, multiseriate. Taretsu-hôsha-soshiki 多列放射組織
Ray, phloem. Shibu-hôsha-soshiki 師部放射組織〔〔篩〕〕
Ray, primary. Ichiji-hôsha-soshiki 一次放射組織
Ray, secondary. Niji-hôsha-soshiki 二次放射組織
Ray, uniseriate. Tanretsu-hôsha-soshiki 単列放射組織
Ray, wood or xylem. Mokubu-hôsha-soshiki 木部放射組織
Ray cell, procumbent. Heifuku-saihô 平伏細胞 (Syn. 横臥細胞)
Ray cell, square. Hôkei-saihô 方形細胞
Ray cell, upright. Chokuritsu-saihô 直立細胞
Ray crossing. Bun'ya 分野
Ray initial. Hôsha-soshiki-shigen-saihô 放射組織始原細胞
Ray parenchyma. Hôsha-jûsoshiki 放射柔組織
Ray tracheid. Hôsha-kadôkan 放射仮道管
Resin canal. Jushidô 樹脂道 (Syn. 樹脂溝)
Rhytidome. Richidômu リチドーム
Ring, annual. Nenrin 年輪
Ring, discontinuous growth. Furenzoku-seichôrin 不連続生長輪
Ring, double (or multiple). Jûnenrin 重年輪
Ring, drought. Kanrin 乾輪
Ring, false annual. Ginenrin 偽年輪
Ring, frost. Sôrin 霜輪
Ring, growth. Seichôrin 生長輪
Ring, traumatic. Shôgairin 傷害輪
Ring boundary, growth. Seichôrin-kai 生長輪界
Ripewood. Jukuzai 熟材
Ripple marks. Rippurumâku リップルマーク (Syn. 波状紋—廃)
Sand, crystal. Sashô 砂晶
Sapwood. Henzai 辺材

Sapwood, included.　Naibu-henzai　内部辺材
Scalloped torus.　Kyoshijô-tôrus　きょ歯状トールス
Schizogenous.　Risei〔no〕　離生〔の〕
Schizo-lysigenous.　Rihasei〔no〕　離破生〔の〕
Sclereid.　Sukurereido　スクレレイド
Sclerotic cell.　Sukurereido　スクレレイド
Sheath cell.　Saya-saihô　さや細胞
Sieve area.　Shiiki　師域〔〔篩〕〕
Sieve cell.　Shi-saihô　師細胞〔〔篩〕〕
Sieve plate.　Shiban　師板〔〔篩〕〕
Sieve tube.　Shikan　師管〔〔篩〕〕
Sieve tube member.　Shikan-yôso　師管要素〔〔篩〕〕
Soft tissue.　Jûsoshiki　柔組織
Spiral thickening.　Rasen-hikô　らせん肥厚
Stone cell.　Seki-saihô　石細胞
Storied (Storeyed).　Sôkaijô　層階状
Styloid.　Chûshô　柱晶
Tile cell.　Tairu-saihô　タイル細胞
Torus.　Tôrusu　トールス
Trabecula, pl. Trabeculae.　Torabekyurê　トラベキュレー
Tracheary elements.　Tsûsui-yôso　通水要素
Tracheid.　Kadôkan　仮道管
Tracheid, disjunctive.　Risetsu-kadôkan　離接仮道管
Tracheid, fibre.　Sen'ijô-kadôkan　繊維状仮道管
Tracheid, ray.　Hôsha-kadôkan　放射仮道管
Tracheid, septate.　Kakuheki-kadôkan　隔壁仮道管
Tracheid, septate fibre.　Kakuheki-sen'ijô-kadôkan　隔壁繊維状仮道管
Tracheid, strand.　Sutorando-kadôkan　ストランド仮道管
Tracheid, vascular.　Dôkanjô-kadôkan　道管状仮道管
Tracheid, vasicentric.　Shûi-kadôkan　周囲仮道管
Transverse wall.　Suiheiheki　水平壁
Traumatic ring.　Shôgairin　傷害輪
Tylosis, pl. tyloses.　Chirôsu　チロース
Tylosis, sclerotic.　Kôheki-chirôsu　厚壁チロース
Tylosoid.　Chirosoido　チロソイド
Vessel.　Dôkan　道管
Vessel member or element.　Dôkan-yôso　道管要素
Vessel member or element, fibriform.　Sen'ijô-dôkan-yôso　繊維状道管要素
Vessel perforation.　Dôkan-senkô　道管せん孔
Wood.　Zai　材
Wood, compression.　Asshuku-ate-zai　圧縮あて材
Wood, diffuse-porous.　Sankô-zai　散孔材
Wood, early.　Sô-zai　早材
Wood, intermediate.　Ikô-zai　移行材
Wood, late.　Ban-zai　晩材
Wood, non-pored.　Mukô-zai　無孔材
Wood, pored.　Yûkô-zai　有孔材
Wood, primary.　Ichiji-mokubu　一次木部
Wood, reaction.　Ate-zai　あて材
Wood, ring-porous.　Kankô-zai　環孔材
Wood, semi-ring-porous.　Hankankô-zai　半環孔材
Wood, spring.　Shun-zai　春材
Wood, summer.　Ka-zai　夏材 (Syn. 秋材)
Wood, tension.　Hippari-ate-zai　引張あて材
Xylem.　Mokubu　木部
Xylem, primary.　Ichiji-mokubu　一次木部
Xylem, secondary.　Niji-mokubu　二次木部
Xylem mother cell.　Mokubu-bosaihô　木部母細胞

注1：方向を定義する用語。
Transverse, axial, radial および tangential は幹または枝の軸に対する関係位置として用いられる。従って，古い用語集（1933）に出てきた vertical は axial に置きかえられた。解離した細胞などのように，個々の細胞に関して幹（または枝）の軸との関係位置が不明あるいは重要でない場合がある。この場合に，その細胞自身の長軸との関係位置によって，end wall および longitudinal wall という言葉が用いられる。図を参照せよ。

注2：細胞壁の微細構造に関する用語。
この分野に関する知識は，電子顕微鏡の使用によって急速な進歩を示しつつあり，今後数年の間は術語も相当不安定な状態が続くと思われる。そこで，このような用語はすべてこの用語集から除外し，光学顕微鏡によって認め得る状態に関する用語だけを載録することとした。



細胞壁の関係位置に関する用語